

第3回 平成27年度 食と農林漁業の食育優良活動表彰受賞者について

【一般部門】

農林水産大臣賞

特定非営利活動法人 だいずきっず（愛知県高浜市）

URL : <http://www.daizukids.com/>

- ・平成18年より、高浜市内の小学校、特別支援学校等の親子を対象に、「食育」、「共食」、「ペイフォワード」をテーマとして、大豆の種まきから収穫、豆腐づくりまでの一連の過程を体験する「だいずプロジェクト」等を実施。
- ・平成18年に前身のだいずきっず倶楽部を設立。平成23年にNPO法人化し、明治用水や塩づくり施設、食品メーカー（みりん、こんにゃく、漬物など）、人参農家などとも広く連携。年間延べ1,600人が参加。
- ・「だいずプロジェクト」を柱として、郷土への愛着と理解を育む米や伝統野菜づくり、用水路の学習、塩・にがり作り、石窯づくりなどの体験を行うとともに、海外支援団体と連携し、ケニアなどと交流。普遍性のある食育活動の普及を目指している。

消費・安全局長賞

紀の里農業協同組合（和歌山県紀の川市）

URL : <http://www.ja-kinosato.or.jp>

- ・平成15年より、ありのままの農業・農作業を知ってもらうため、地域の農家を指導役とした「ほんまもん」の体験プログラムを実施するとともに、ファーマーズマーケット「めっけもん広場」を拠点にした多彩な食育イベントで消費者と生産者の交流を展開。
- ・大人の体験活動をサポートする会員制のアグリクラブやあぐりキッズスクール、オーナー園のほか、大学や多彩な企業等との連携により、年間55回の体験活動に延べ4,275人が参加。

ファーム・イン さぎ山（埼玉県さいたま市）

URL : <http://farmin-sagiyama.com/>

- ・平成8年より、農業体験、調理・加工体験、農村生活体験等を通じて、食と農の大切さを消費者に伝える活動を実施。農業の価値を食の安全・安心、教育問題、福祉・生きがいづくり、環境問題、予防、雇用の場、観光、癒やし、子どもの立ち直り支援など様々な角度から発信。子ども、親子、中高生、大学生、大人を対象として、保育園、小学校、特別支援学校、企業、NPOなどと連携し、年間88回の体験活動を行い、延べ8,330人が参加。
- ・伝統技術や知恵、食文化を次世代へ継承する活動により、やりがいを感じる高齢者の雇用にもつながっている。

なよろ食育推進ネットワーク（北海道名寄市）

参考URL : <http://syokuiku.gr.jp/image/home/home%20top.htm>

- ・平成18年より、農場、行政、学校給食他、食育関連の団体および個人など多様な関係者をつないで、食に関するシンポジウムや家庭菜園セミナー、食育セミナー、料理教室、食育体験イベントなどを実施。年間50回の体験活動に延べ423人が参加。
- ・平成20年に市が策定した食育推進計画の実践という位置づけでも進められている。
- ・平成21年には教育ファーム事業のモデル実証協力団体に採択され、以後、親子で参加する一般公募型と、小学校・幼稚園で実施する学校支援型の二通りで教育ファームの取組を推進。

【企業部門】

農林水産大臣賞

生活協同組合 コープこうべ（兵庫県神戸市）

URL : <http://www.kobe.coop.or.jp/>

- ・大正13年から、組合員活動の柱としてよりよい消費生活のため「家庭会」を創設。組合員が自ら料理会・学習会を企画・主催し、栄養バランス、安全・安心などの食育活動を展開。近年は、時代のニーズにあわせ、食を支える生産現場や背景にある環境にも学びの視点を拡大。生産者と消費者の交流にも力を入れており、酪農、農業、漁業など多岐に及ぶ体験活動を実施。
- ・年間1,000回を超える料理会、学習会、産地見学、体験活動に、延べ70,033人が参加。
- ・また、「コープ土づくりセンター」で店舗から出る野菜くずなどをたい肥化し、地元農家とともに設立した農業法人「みずほ協同農園」で野菜を生産。店舗でフードプラン商品として供給。農園は農業体験の受け入れや新規就農者の研修施設として機能している。

消費・安全局長賞

クリナップ株式会社（東京都荒川区）

URL : <http://www.cleanup.jp/>

- ・平成24年に発足した「弁当の日」応援プロジェクトに当初から参画し、子供がお弁当を作って学校に持ってくる「弁当の日」振興のため、地域スーパーと共催での弁当コンテスト、料理教室や父兄対象の講演会等を実施。年間15回、延べ1,033人が参加。
- ・「おいしい暮らし研究所」を設置し、「キッチンから笑顔をつくる料理アカデミー」での情報発信、全国101のキッチンショールームで、食育に取り組む女性による料理実習や地域の食文化伝承の取組を実施。

株式会社 農協観光 北海道統括事業部（北海道札幌市）

URL : <https://ntour.jp/gt/hkd/>

- ・平成19年より、観光農園にはない真の農業実態を実感できるツアー「農感塾」を企画運営し、農家やJA女性部との交流を通じて、農業体験、農作物の選び方・効能、保存・調理方法、郷土料理などについて学ぶ活動を実施。
- ・親子向け、若者向け、交流試食会などニーズに合わせた農業体験バスツアーに、年間100回、延べ5,100人が参加。

株式会社 マルイ（岡山県津山市）

URL : <http://www.maruilife.co.jp/>

- ・平成18年より、「食でつなぐひと・もの・こころ」をテーマに、社内に「食育推進室」を立ち上げ、地域の行政、学校、生産者などと横断的に連携し、農業体験から調理体験までの一連の取組を実施。取組みを通じて、次世代育成や世代間交流の機会を提供。年間234回、延べ23,000人が参加。
- ・また、食品メーカーと共催した店舗での地産地消レシピの紹介や、大学と協働開発した弁当の販売など、地域に根ざした積極的な情報発信を実施。

（敬称略、50音順）